

## 明治大学図書館所蔵資料の蔵書印(1)

飯塚 貴子\*

### 斑山文庫

所用者 高野辰之(1876～1947)  
大きさ 4.9 × 4.9cm(朱印)  
撮影資料 『平家物語』(請求記号:092.1/16//H)

所用者の高野辰之は、広く文献資料を収集・考証し、邦楽、歌謡、演劇の芸能とその史的研究の分野を開拓した国学者。「故郷」や「春の小川」の作詞者としても知られている。斑山は号で、書庫を斑山文庫と称した。

### 黒川真頼

所用者 黒川真頼(1829～1906)  
大きさ 1.9cm(丸型)(朱印)  
撮影資料 『儀式』(請求記号:092.1/19//H)

所用者の黒川真頼は、国史、国文、美術等を実証的に研究した国学者。宮内庁御歌所寄人を経て東京帝国大学の教授になった。『古事類苑』の編纂や、1890年制定の法服の考案などに携わった。

---

\*いづか・たかこ / 図書館事務部総合サービス課

## 賢木園記

所用者 内藤広前 (? ~ 1866)  
大きさ 2.5 × 2.5cm (朱印)  
撮影資料 『装束圖式』 (請求記号:092.1/26//H)

所用者の内藤広前は、幕府与力で、和学講談所出役なども歴任した。著書に「国史拾遺」、「大内裏圖考證正誤」などがある。

## 橘氏蔵書

所用者 加藤千蔭 (1735 ~ 1808)  
大きさ 5.7 × 1.6cm (朱印)  
撮影資料 『大嘗會便蒙』 (請求記号:092.1/21//H)

所用者の加藤千蔭は、賀茂真淵の有力な庇護者であった父・加藤枝直の影響で14歳で真淵に入門し、幕府与力の職を辞してからは和歌や狂歌で活躍した。「うけらが花」「万葉集略解」などの著書がある。本姓は橘、号は芳宜園・耳梨山人など。

## 参考文献

芳賀登ほか編集 『日本人物情報体系』 第43巻 皓星社 2000.7  
渡辺守邦, 後藤憲二編 『新編蔵書印譜』 青裳堂書店 2001.1